

令和 7 年度
福岡未来創造プラットフォーム
事業計画書



福岡未来創造
プラットフォーム

目次

地域人材育成分科会		ページ
取組 1	「福岡未来創造プログラム」の充実と展開	1
取組 2	学生が大学とまちの未来創造にチャレンジできる体制および支援制度の構築と展開	2
取組 3	地元産業界等と連携したキャリア教育・就職支援の充実	3
取組 4	アントレプレナーシップ教育の充実と展開	4

産学官民交流分科会		ページ
取組 1	『福岡まなびラボ』を核とした対話と創造の場づくりの推進	5
取組 2	共同研修事業の推進	6
取組 3	生涯学習・リカレント教育事業の共同実施	7
取組 4	資源の共有化や業務・事業の共同化の推進	8
取組 5	組織の垣根を越えた交流を促進する支援制度の再編と拡充	9

広報・ブランディング分科会		ページ
取組 1	高校生に向けた広報活動の充実と展開	1 0
取組 2	学生による広報・ブランディング活動の展開	1 1
取組 3	プラットフォームの認知度向上の推進	1 2

共同事務局		ページ
取組 1	運営に係る業務や仕組等の改善策の立案・実行	1 3
取組 2	高等教育とまちの発展に資する調査研究の委託・実施	1 4
取組 3	外部資金等の導入による財政基盤強化の検討	1 5

令和 7 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	「福岡未来創造プログラム」の 充実と展開	所管分科会	地域人材育成分科会
目的 (100 字程度)	PF 加盟大学の学生を対象に、「地域の未来を担う人材の育成」を目的とした PF オリジナルの共同教育プログラムを実施する。幅広い学問領域や社会課題をテーマに PF ならではの学びを提供することにより、学生の成長の最大化を目指す。		
事業概要 (100～200 字程度)	(1) 「福岡未来創造プログラム・カリキュラム基本方針」に基づき、「越境」・「共創」・「変容」を構成する 9 つの能力・要素の育成するため、参画機関の協働による多様な科目・講座を企画・展開する。 (2) 本プログラムでは、時代の潮流やニーズに沿って、社会をフィールドとした PBL、アントレプレナー、スタートアップ、DX、AI・データサイエンス、金融、SDGs、ESG 等の多様なテーマを扱い、その一部を高校生にも提供する。 (3) 開講科目・講座について、受講者アンケートを実施し、満足度ならびに課題・問題点を把握しながら、運営方法の改善と質の向上を図る。		
目標値	(1) プログラム開講数：10 開講以上 (2) 受講者数：延べ 300 名以上 (3) 受講者の満足度：平均 70%以上		
スケジュール	●4 月 企画（テーマ設定・講師派遣調整） ●5 月 決議（5 月開講分はメール等で早期決議） ●6 月以降 広報及び受講学生募集（開講可能なものから随時） 随時開講 ●2 月 実績の総括 ●3 月 次年度計画の策定		
予算額	3,000,000 円		
予算使途・科目	会議費 印刷費 消耗品費 施設利用費 謝礼（講師及びアシスタント等） その他雑費		

令和7年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	学生が大学とまちの未来創造に チャレンジできる体制および 支援制度の構築と展開	所管分科会	地域人材育成分科会 (産学官民交流分科会と連携)
目的 (100字程度)	PF 加盟大学の学生を対象に、「大学生の学びと成長の環境づくり」、「大学のまち福岡」、「地域経済の活性化」、「地域共創・共生」などに供する活動の支援を目的として、学生たちが大学とまちの未来創造にチャレンジできる体制の構築と支援制度の創出に取り組む。		
事業概要 (100～200字程度)	(1) 「福岡未来創造プログラム・カリキュラム基本方針」に掲げる「越境」・「共創」・「変容」を構成する9つの能力・要素の育成を念頭に、「大学生の学びと成長の環境づくり」、「大学のまち福岡」、「地域経済の活性化」、「地域共創・共生」などに供する学生活動を支援するための仕組みを構築する。 (2) 当年度はビジネスチャレンジ等のイベントを企画・実施する。		
目標値	(1) 支援を受けた学生数：延べ30名以上 (2) 支援学生の満足度：平均70%以上		
スケジュール	●4月～5月 計画の策定 ●6月 決議 ●7月以降 随時実施 ●2月 実績の総括 ●3月 次年度計画の策定		
予算額	2,000,000 円		
予算使途・科目	会議費 印刷費 消耗品費 施設利用費 謝礼（講師及びアシスタント等） その他雑費		

令和 7 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	地元産業界等と連携した キャリア教育・就職支援の充実	所管分科会	地域人材育成分科会 (産学官民交流分科会と連携)
目的 (100 字程度)	PF 加盟大学の学生を対象に、地元産業界等と連携したキャリア支援事業を企画・展開し、学生のより良い就職活動や、初等中等教育向けのキャリア形成に寄与する。		
事業概要 (100～200 字程度)	学生キャリア支援チームも新たに創設し、PF の特徴とネットワークを活かした、キャリア・就活アドバイス、業界研究、合同企業セミナー、会社説明会、インターンシップ、初等中等教育向けキャリア形成等のイベントを企画・実施する。		
目標値	(1) イベント実施数：延べ 10 回以上 (2) 参加者数：延べ 1,000 名以上 (3) 参加者の満足度：平均 70%以上		
スケジュール	●4 月～5 月 企画 ●6 月 決議 ●7 月以降 随時実施 ●2 月 実績の総括 ●3 月 次年度計画の策定		
予算額	3,760,000 円		
予算使途・科目	会議費 印刷費 消耗品費 施設利用費 謝礼 その他雑費		

令和7年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	アントレプレナーシップ教育の 充実と展開	所管分科会	地域人材育成分科会
目的 (100 字程度)	福岡都市圏のすべての学生がアントレプレナーシップ教育を自由に受けられる環境をつくることを目指して、大学横断型のアントレプレナーシップ教育共通プラットフォームとして実績ある「Fukuoka School of Entrepreneurship」をフレームワークとして、各加盟大学にアントレプレナーシップ教育を展開する。		
事業概要 (100～200 字程度)	(1) アントレプレナーシップマインドを持った人材の輩出及び福岡都市圏への多様な人材の集積を目指し、アントレプレナーシップ教育の質的向上と充実、受講機会の拡大等に取り組む。 (2) 第1期の「Fukuoka School of Entrepreneurship」の優れたフレームワークを継続し、関連講座を開講する。		
目標値	(1) 講座開講数：10 回以上 (2) 受講者数：延べ 500 名以上 (3) 受講者の満足度：平均 70%以上		
スケジュール	●4 月以降 随時開講 ●1 月～2 月 実績の総括及び次年度計画の策定 ●3 月 次年度募集開始		
予算額	200,000 円		
予算使途・科目	会議費 印刷費 消耗品費 施設利用費 謝礼（講師及びアシスタント等） その他雑費		

令和 7 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	『福岡まなびラボ』を核とした対話と創造の場づくりの推進	所管分科会	産学官民交流分科会
目的 (100 字程度)	「福岡まなびラボ」が中心となり、「福岡の未来の学びの創造」をテーマに産学官民の関係者による対話と交流の場を継続的に開催することで、組織の垣根を越えた関係性づくりを進めるとともに、プラットフォームのビジョンの実現に資するさまざまな先進的な事業や教育プログラム等の創出につなげる。		
事業概要 (100～200 字程度)	産学官民の対話と交流の場として、「福岡まなびラボ（以下、まなラボ）」を定期開催する（月 1 回程度）。「福岡の未来の学びの創造」をテーマに、産学官民で対話や交流、学習会等を進めるとともに、そこで生まれたアイデアや構想を代表者会議や分科会と共有したり、まなラボメンバー等で実際に試行したりすることで、プラットフォームのビジョンの実現に資する新たな事業や教育プログラム等の創出につなげていく。 また、まなラボは、第 2 期から設置される「PF 戦略推進会議」の運営を支える役割も担い、同会議における提案内容の実現に向けた支援等にも取り組む。		
目標値	・対話と交流の場への参加者数：延べ 200 人以上 ・対話と交流に基づく新規の企画・事業等の実現件数：3 件以上		
スケジュール	【福岡まなびラボ】 ● 4 月～3 月 福岡まなびラボの開催（月 1 回程度） ● 4 月～8 月 福岡未来創造プログラムのコア科目の開発・開講準備 ● 9 月～12 月 コア科目の開講・運営 ● 10 月、3 月 福岡まなびラボ企画の対話と交流イベントの開催 ※対話と交流を通して生まれたアイデアや構想は適宜、代表者会議や分科会と共有、または、まなラボメンバー等で試行を進める。		
予算額	800,000 円 ※本分科会全体の予算額を上限に他の事業へ予算流用する場合がある		
予算使途・科目	・消耗品費 ・印刷費 ・会議費 ・旅費 ・雑費		

令和 7 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	共同研修事業の推進	所管分科会	産学官民交流分科会
目的 (100 字程度)	プラットフォーム加盟機関の人材の資質向上及び交流の促進を目的に、プラットフォーム加盟機関の共同による研修事業を推進する。		
事業概要 (100～200 字程度)	プラットフォーム加盟機関の発展につながる魅力的かつ質の高い研修プログラムを共同で開発・実施する。特に、第 2 期では「未来創造」をテーマに、新たな時代の教育や大学経営のあり方に関する最先端の実践事例の紹介や学び合いの場づくりに取り組むことで、各加盟機関の未来に向けた組織の変革と人材の成長を支援する。また、第 2 期の柱となる定例事業のひとつとして、加盟機関の関係者が毎年集まり、組織の垣根を越えた交流と学び合いを通して互いに高め合うことができる場の開発・実施に取り組む。 加えて、プラットフォーム内の各機関で実施されている既存の研修プログラムを他機関の教職員に開放し、受講できる仕組みづくりも引き続き進める。		
目標値	・研修の共同実施件数：4 件以上（PF 主催 2 件、既存開放 2 件） ・研修への参加者数：延べ 100 人以上（PF 主催 80 人、既存開放 20 人） ・研修参加者の満足度：80%以上（PF 主催のみ）		
スケジュール	● 4 月～ 5 月 PF 全加盟機関を対象とした開放可能な研修プログラムの調査 ● 4 月～ 6 月 AI をテーマにした共同研修（連続講座）の企画・準備・広報 ● 7 月～ 8 月 AI をテーマにした共同研修（連続講座）の実施・検証 ● 7 月～10 月 PF の柱となる共同研修（プロトタイプ版）の企画・準備・広報 ● 11 月 PF の柱となる共同研修（プロトタイプ版）の実施・検証		
予算額	600,000 円 ※本分科会全体の予算額を上限に他の事業へ予算流用する場合がある		
予算使途・科目	・消耗品費 ・印刷費 ・会議費 ・旅費 ・雑費		

令和7年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	生涯学習・リカレント教育事業の 共同実施	所管分科会	産官学民交流分科会
目的 (100字程度)	各加盟機関で実施されている生涯学習・リカレント教育事業の効果化・効率化を支援する仕組の構築（広報活動の共同化や相互協力、複数の加盟機関で企画・開講する生涯学習講座への助成制度、ニーズ調査の共同展開等）をさらに具体化する。また、福岡のまちの未来創造や課題解決に大きく寄与することが期待できる先進的な生涯学習・リカレント教育のモデル事業の開発・実施に取り組む。		
事業概要 (100～200字程度)	共同の公開講座を企画実施する。広報活動については、広報・ブランディング分科会とも連携しながら効率的に進める。また、ニーズ調査として、実施後のアンケート調査も行い、加盟機関にも共有する。 先進的な生涯学習のモデル事業として、こども博士プロジェクトを企画実施する。さまざまな専門分野で活躍する大学教授や研究者が「博士」として、子どもたちに学びの魅力を伝える出張授業を提供する。また、学生にプロジェクトの企画や運営に主体的に携わってもらい、社会に対する責任感や市民性の育成にもつなげる。		
目標値	生涯学習・リカレント教育に係る事業・業務の共同実施件数：2件以上		
スケジュール	<公開講座> ●4月～6月 企画検討・日程調整 ●9月～ 企画実施・アンケート回収 <こども博士プロジェクト> ●4月～6月 運営チーム発足 ●7月～8月 参加小学校の募集/日程調整・プログラム開発 ●9月 スケジュール調整 ●10月～3月 実装期間		
予算額	1,800,000円 ※本分科会全体の予算額を上限に他の事業へ予算流用する場合がある		
予算使途・科目	・消耗品費 ・印刷費 ・会議費 ・旅費 ・報償費 こどもの博士プロジェクトは、福岡を拠点とする教育系ソーシャルスタートアップ EduPorte(株)との共催（想定）		

令和7年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	資源の共有化や業務・事業の共同化の推進	所管分科会	産学官民交流分科会
目的 (100 字程度)	プラットフォーム加盟機関の経営力の強化（業務の効率化、コストの削減、教育研究力の向上等）を目的に、知的・人的・物的資源の共有化や業務の共同化の可能性について継続的に調査するとともに、その実現に向けた支援に取り組む。 【取組例】 備品・サービス等の共同調達、施設・設備の共同利用、業務システムの共同開発、クロスアポイントメント制度の実施、特定の業務・事業の共同実施等		
事業概要 (100～200 字程度)	プラットフォーム加盟機関における資源の共有化や業務・事業の共同化の推進に向けて、下記の取組を継続的に実施する。 ①【取組事例の見える化】 毎年、全国の大学等における共有化・共同化の最新の取組事例を調査し、各加盟機関の代表者や関係者に向けて情報提供を行う ②【加盟機関への調査】 ①を踏まえて、各加盟機関側で実現したい共有化・共同化のメニューがないか定期的に意向調査や呼びかけを行う ③【加盟機関同士のマッチング】 ②で提案があがった具体的なメニューに関して、他の加盟機関への実現に向けた呼びかけやマッチングに取り組む 特に、当年度は、産学官交流や共同研究の活性化を見据えた「研究」領域における共有化・共同化（研究シーズ集の共同作成、研究設備・機器の共同利用、産学官交流会の共同実施等）の可能性について、重点的に調査・検討に取り組む。		
目標値	・資源の共有化や業務・事業の共同化の実現件数：1 件以上 ・PF 加盟機関への事例等調査結果の共有及び意向調査の実施回数：1 回以上		
スケジュール	<施設・設備の共同利用> ● 4 月～8 月 「施設・設備の共同利用に関する調査」の実施 ● 9 月～10 月 共同利用の調査結果の取りまとめ、および情報公開 <「研究」領域における共有化・共同化> ● 4 月～6 月 全国の大学等における取組事例の調査の実施 ● 7 月～8 月 PF 加盟機関へのヒアリング調査（3 校程度） ● 9 月 調査結果の取りまとめ⇒PF 代表者会議での調査結果報告 ● 10 月 PF 加盟機関を対象とした意向調査または呼びかけの実施 ⇒加盟機関から実施希望の提案があがったものに関して、実現に向けた支援を進める		
予算額	50,000 円 ※本分科会全体の予算額を上限に他の事業へ予算流用する場合がある		
予算使途・科目	・消耗品費 ・会議費 ・雑費		

令和7年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	組織の垣根を越えた交流を促進する支援制度の再編と拡充	所管分科会	産学官民交流分科会
目的 (100字程度)	プラットフォームのビジョンの実現に寄与する、組織の垣根を越えたチャレンジな事業を支援する制度を整備し、運用する。		
事業概要 (100～200字程度)	第1期における「福岡よか未来プロジェクト支援制度」を再編・拡充し、次のような方針に基づく新たな支援制度を整備・運用する。 ① プラットフォームが目指すビジョンの実現に大きく寄与することが期待できる事業を公募し、支援する。 ② 支援対象の事業は、プラットフォーム加盟機関に所属する学生・教員・職員のいずれかが代表者または構成員となり、かつ加盟機関の組織の垣根を越えたプロジェクトメンバーによる取組であること。 ③ より社会的インパクトが強い事業を募集できるように、1件あたりの支援金額を増額する（1件15万円⇒30万円検討）。また、学生と教職員の申請区分を分けるとともに、学生の採択枠を優先する。 ④ 旧制度の「認定型プロジェクト」も見直す。「大学のまち福岡」のブランド力の向上や学生の学びと成長の環境づくりなど、ビジョンの実現に大きく寄与することが期待できる加盟機関内外の既存のプロジェクトを公認し、連携協力することにより、外部の力を活用してプラットフォームの活性化と省力化を実現する新たな制度へと再編する。 ⑤ 本支援制度は、「地域人材育成分科会」や「広報・ブランディング分科会」と連携協力して実施・運用する。		
目標値	・ 支援件数：6件以上 ・ 支援制度に基づく交流者数：延べ300人以上		
スケジュール	● 4月 新制度の募集要項・審査要項の検討・作成 ● 5月 募集開始 ● 6月 書類審査および面接審査（オンライン予定） ● 7月 採否結果の通知・支援開始 (⇒3月 支援終了。事業終了後1カ月以内に選定団体から成果報告) ● 3月 新制度の検証を行い、次年度に向けて要項・制度等を改善		
予算額	2,400,000円 ※本分科会全体の予算額を上限に他の事業へ予算流用する場合がある		
予算使途・科目	・ 消耗品費 ・ 報償費 ・ 通信運搬費 ・ 雑費 ・ 印刷費		

令和7年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	高校生に向けた広報活動の充実と展開	所管分科会	広報・ブランディング分科会
目的 (100字程度)	全国の高校生に向けて福岡の大学とまちの魅力を効果的に発信することで、各参画機関の認知度向上を支援するとともに、「大学のまち福岡」で学ぶこと・暮らすことのブランド力を高める。		
事業概要 (100～200字程度)	令和7年度は、「大学のまち福岡」のさらなるブランド力の向上にむけて、ウェブサイト「DAiFuk.」のリニューアルに取り組む。これまで別々に運営していた「DAiFuk.」とプラットフォームの事業サイトを統合することにより、情報発信のプラットフォームとしての機能を強化するとともに、高校生から共感と賛同が得られる新たなコンテンツの開発・発信に取り組む。併せて、「大学のまち福岡」の創出に供するため、高校生向け広報媒体ツールの作成および合同アンケートを実施し、各参画大学の学生募集活動や「DAiFuk.」サイトの改善を図るものとする。		
目標値	・新規コンテンツの開発(投稿)数：開発(投稿)10以上 ・ポータルサイトアクセス数：150,000以上 ・アンケート回収数：300件以上		
スケジュール	(令和6年度準備) ●1月～2月：リニューアルに向けた要件定義 ●3月：開発準備等 (令和7年度) ●4月～5月：新WEBサイト開発・テスト環境 ●6月～：新WEBサイト運用開始(旧WEBサイトからの切替え) ※学生広報部(仮称)を中心にSNS投稿等配信		
予算額	3,300,000円		
予算使途・科目	委託費 ※3社見積りの平均 ・Webサイトリニューアル 2,200,000円 ・Webサイト保守・管理 400,000円 ・リーフレット作成 700,000円		

令和7年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	学生による広報・ブランディング活動の展開	所管分科会	広報・ブランディング分科会
目的 (100字程度)	福岡都市圏の学生たちが大学の垣根を越えて、自らの力で福岡の大学とまちの魅力を全国に向けて発信・創出する活動を支援し、育てていく。これらの取組を通して、多くの学生たちが福岡の大学とまちを盛り上げる活動に主体的に参画し、活躍する環境の実現を目指す。		
事業概要 (100～200字程度)	令和7年度は、①「福岡学生祭典プロジェクト」と②「学生広報部プロジェクト」を立ち上げ、支援する。①は、福岡都市圏の学生が大学の垣根を越えて創りあげる合同学生祭典を福岡市役所前広場で開催する。加盟大学の学生を中心とする実行委員会が企画からイベントの運営まですべてプロデュースする。②は、加盟大学の学生を中心に「学生広報部（仮称）」を新たに立ち上げる。同団体の活動において、動画編集などのSNS投稿に必要な基本技術を学びながら、その実践編として全国の高校生等に向けて福岡の大学とまちの魅力をSNSにて積極的に発信する。		
目標値	・認知度向上及び活動紹介に関するイベントの参加学生数：延べ150人以上 ・認知度向上及び活動紹介に関するイベントの実施：延べ2回以上 ・広報チーム部員数：延べ10人		
スケジュール	①「福岡学生祭典プロジェクト」 ●4～8月 企画準備 ●9月 祭典実施 ●10～12月 振り返り・メンバー募集 ②「学生広報部プロジェクト」 ●4月 学生広報部立ち上げ ●5月 活動開始		
予算額	3,200,000円		
予算使途・科目	・会場設営費 ・その他運営費 ・印刷費 ・雑費		

令和7年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	プラットフォームの認知度向上の推進	所管分科会	広報・ブランディング分科会 (共同事務局と連携)
目的 (100 字程度)	プラットフォームの認知度向上を最重要の課題のひとつとして位置づけた上で、「全国」「福岡都市圏」「加盟機関（教員・職員・学生）」の3つの領域を見据えた認知度向上の戦略を検討・構築し、その展開にあたる。		
事業概要 (100～200 字程度)	令和7年度は、現時点で最も優先度が高い「加盟機関（教員・職員・学生）」におけるプラットフォームの認知度、および活動の意義や内容の理解度・共感度を向上させる戦略を重点的に検討・構築し、実行する。特に、加盟大学の学生への認知度向上については、プラットフォーム主催の各種のプログラムやイベント等への参加・協力者数と直結するため、最重上課題として早期に検討を進め、実行に移す。なお、同事業は、共同事務局と連携しながら進める。また、実行にあたっては、本分科会の「学生による広報・ブランディング活動の展開」事業における学生の活動とも部分的に連携し展開する。		
目標値	・加盟機関における認知度等向上の戦略プランの策定・実行 ・報道メディアへのプレスリリースの実施：延べ2回以上		
スケジュール	● 4月～8月：加盟機関（教員・職員・学生）におけるプラットフォームの認知度・共感度等を向上させる戦略プランの検討・策定 ● 9月～：戦略プランに基づく認知度・共感度等の向上策の実行 ● 3月：実施結果のふりかえり、改善策の検討		
予算額	500,000 円		
予算使途・科目	印刷費 委託費		

令和 7 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	運営に係る業務や仕組等の改善策 の立案・実行	所管分科会	共同事務局
目的 (100 字程度)	プラットフォームのより効果的・効率的な運営体制・方法の確立に向けて、共同事務局が中心となり運営に係る業務や仕組等の改善を組織的に推進する。		
事業概要 (100～200 字程度)	令和 7 年度は、主に下記の改善に取り組む。①～⑤以外にも、状況に応じて共同事務局で適宜改善策を立案し、実行する。 ①プラットフォームの運営に関する各加盟機関からの意見や要望等を収集し、改善につなげる仕組の確立 ②プラットフォームの運営に関する各分科会構成メンバーからの意見や要望等を収集し、改善につなげる仕組の確立 ③事業の参加者属性や参加動機等の共通データの収集・分析を目的とした、プラットフォーム共通の参加申込フォームの作成 ④事業の効果測定等に係る共通データの収集・分析を目的とした、プラットフォーム共通のアンケートフォームの作成 ⑤第 2 期プラットフォーム運営マニュアルの作成		
目標値	改善策の実行件数：5 件以上		
スケジュール	<①②> ●4 月～ 9 月：共同事務局で仕組を検討・構築 ●10 月、3 月：意見・要望の収集⇒改善策の立案・実行 <③④> ●4 月～5 月：共同事務局で検討・作成 <⑤> ●4 月～6 月：共同事務局で検討・作成 ※①～⑤以外にも、共同事務局で適宜改善策を立案し、実行する。		
予算額	0 円		
予算使途・科目	なし		

令和 7 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	高等教育とまちの発展に資する調査研究の委託・実施	所管分科会	共同事務局
目的 (100 字程度)	エビデンスに基づくプラットフォームの施策や事業の展開に向けて、福岡都市圏の高等教育の未来やまちの発展に関わる重要課題やテーマを指定し、調査研究の委託・実施を進める。		
事業概要 (100～200 字程度)	令和 7 年度は、第 2 期中に実施する調査研究の方向性や委託等の仕組、具体的な進め方等について共同事務局内で検討し、実行プランを策定する。同プランに基づき、次年度の調査研究の委託・実施に向けて準備を進める。		
目標値	実行プランの策定		
スケジュール	●4 月～9 月 : 実行プランの検討・作成 ●10 月 : 代表者会議に提出・承認 ●11 月～ 3 月 : 次年度の調査研究の委託・実施に向けて準備		
予算額	0 円		
予算使途・科目	なし		

令和 7 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	外部資金等の導入による財政基盤強化の検討	所管分科会	共同事務局
目的 (100 字程度)	プラットフォームの財政基盤の強化に向けて、企業等からの寄付金・協賛金の受入れや外部資金への共同申請等をはじめ、会費収入以外の資金の導入について検討するとともに、法人化の可能性についても併せて検討する。		
事業概要 (100～200 字程度)	令和 7 年度は、会費収入以外の資金の導入の多様な可能性について共同事務局内で洗い出し、実現性や課題等について調査・検討する。これら調査・検討の経過は、適宜代表者会議にて報告し、実現の可能性について協議する。また、法人化の可能性についても併せて調査・検討を進める。		
目標値	代表者会議への報告：2 回		
スケジュール	●4～3 月：共同事務局における調査・検討 ●10 月：代表者会議にて経過報告・協議 ●3 月：代表者会議にて経過報告・協議		
予算額	0 円		
予算使途・科目	なし		